

昇る朝日を中海の遊覧船から眺めるメンバーら



中海の遊覧船から 昇る朝日を見よう

実験型ツアー実施

中海の遊覧船から大山の麓に昇る朝日を見ようと企画された実験型ツアーがあった。地方創生に向けた活動を行う「出雲から陽が昇るプロジェクト」が企画し、メンバーら約15人が参加し

た。

プロジェクトは、小松電機産業（松江市）の小松昭夫社長が中心となり活動。古代出雲文化圏の神話や文化、歴史遺産などを生かした地域活性化を目指している。ツアーもその一環で、知名度の高い宍道湖の夕日に加え、中海の朝日を事業化につなげたい考え。

メンバーらは早朝、松江港に集合し、宍道湖観光遊覧船に乗船。中海に向かい馬潟沖まで往復約2時間のツアーを体験した。メンバーの長谷川泰二さん「米子市」は「地域の価値を高め、資産をどう事業につなげていくかが重要。多くの方と共有できるプロジェクトにしていきたい」と話した。

（呉藤隆弘）